

令和6年2月5日(月)

# 魚沼きこえの教室だより

令和5年度 第9号

長岡聾学校小出分教室 (小出特別支援学校内)

きこえの教室 担当：高橋 登

〒946-0035 魚沼市十日町 1738-2

Tel:025-792-5462 fax:025-792-5465

mail:takahashi.noboru@nein.ed.jp

小学校や中学校で学んでいる難聴児童生徒への理解と支援ありがとうございます。令和5年度の最終号は補聴器や人工内耳の「補聴援助システム」についてです。

補聴器や人工内耳を使用している人が聞き取りやすい話者との距離はどのくらいだと思いますか？

答えは「1~2mくらい」です。これ以上話者から離れてしまうと、聞こえている音声よりも周囲のいろいろな音が大きく聞こえてしまいます。そこで、話者の話がよく聞こえるように補聴援助システムを活用します。

## ◎補聴器・人工内耳専用の無線マイクの活用

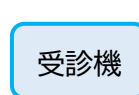
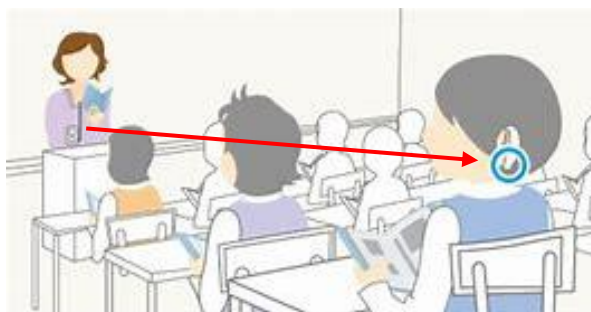
専用の無線マイクを話者(授業者)が胸元に着けることで、話者の音声が無線マイクを通して直接補聴器や人工内耳に届き、はっきりと聞こえるようになります。マイクの通信可能距離は30m前後です。教室での使用は問題ありませんが、体育館や屋外で使用する場合には補聴器・人工内耳装用者の位置が通信可能範囲になるように配慮することが大切です。

※授業者が使用する場合は、マイクを「首にかける(胸元に着ける)」が基本です。手に持ったり、机に置いたりすると、音声が届きにくい場合があります。



送信機

タッチスクリーンマイク



受信機



人工内耳 (N-7)



補聴器



人工内耳 (N-6)

### ① グループでの話し合いで活用

4人程度のグループで話し合う場面でこの無線マイクを中央に置くと、発言者が代わる度に音声の方向をマイクが感知して、その方向の音声を補聴器や人工内耳に届ける機能も備えています。

※話し合いで使用する場合は「一人ずつ話す」「順番に話す」などのルールの確認をお願いします。

### ② スピーカーなどの音源の近くに置く

CDプレーヤーやテレビなどの近くにマイクを置けば、英語のリスニングや音楽などをはっきりと聞くことができます。

※授業の途中で動画を見るときなどにも有効です。

### ③ 体育館での使用

体育館で行う集会などでも補聴システムを活用ができます。話者が一人ならば無線マイクを直接着ければよいのですが、複数の放送用マイクを使用する時もあります(卒業式、入学式など)。無線マイクを放送設備のアンプにつなぐことができれば、複数の放送用マイクの音を補聴器や人工内耳に届けることができます。

※出力端子のあるアンプであれば大丈夫です。ロジャーの受け渡しの必要がなくなります。

聴覚障害は目に見えず、分かりにくい障害です。補聴器を着けて、補聴システムを使えば全て聞こえて大丈夫、というわけではありません。周囲の音環境によっては聞き取りにくいことがあります。常に指示や説明が視覚的に分かるような配慮が必要です(文字や絵、具体物などで示すなど)。